

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2025 年 12 月 07 日

事業所名：療育支援つばさ 加古川事務所

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	密にならないように細心の注意を払い確保している		引き続き、密にならないように細心の注意を払い確保していく
	2	職員の適切な配置	利用人数に合わせて十分な配置を行っている	職員の方々がどのような資格を持っておられるか分からない	年に1回つばさ新聞を発行。その中に職員の情報も伝える
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	絵など用いて視覚で分かるようにしている		引き続き絵など用いて視覚で分かるようにしていく
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	確保できている		引き続き、確保していく
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	個人のケースに合わせた支援を行えるように職員間のミーティングを行っている。		引き続き、個人のケースに合わせた支援を行い、職員間のミーティングも行う
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は行っていない		現在は行っていない
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	コロナが5類感染症になったことにより、これから積極的に研修に参加、申し込みを行う。		随時申し込みをし積極的に参加している
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	今後も本人(保護者)のニーズに合わせた問題解決を支援する。		引き続き、本人(保護者)のニーズに合わせた問題解決を支援(提示)していく
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	今後も本人(保護者)のニーズに合わせた問題解決を支援する。		引き続き、本人(保護者)のニーズに合わせた問題解決を支援(提示)していく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	今後も本人(保護者)のニーズに合わせた問題解決を支援する。		引き続き本人(保護者)のニーズに合わせた問題解決を支援(提示)をしていく
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	行っている。		引き続き、適切な支援をしていく
適切な支援の提供 続き	5	チーム全体での活動プログラムの立案	個々に合わせた支援が行われるよう、細かく立案し、ミーティングや振り返りを行っている。	毎月活動プログラムが変わっており遠足など課題での活動もあります	引き続き、個々に合わせた支援を行い、細かく立案しミーティングや振り返りを行っていく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	各家庭に合わせて、利用日数の提案や調整を行いながら、負担なく過ごせるようにしている。		引き続き、各家庭に合わせて、利用日数の提案や調整を行いながら、負担なく過ごせるようにしていく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	今後も振り返りを行いながら、プログラムに錯誤する。		引き続き、振り返りを行いながら、プログラムに錯誤する
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日案やミーティングを行い、円滑な支援ができるようにしている。		日案やミーティングの徹底を図る
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日のうちに振り返りができるようにしているが、労働時間内に難しい場合は紙面に書き止めたりして、解決できるようにしている。		引き続き、その日のうちに振り返りができるようにし、労働時間内に難しい場合は紙面に書き止めたりして、解決できるようにしていく
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録は毎日欠かさずに細部まで書き留めている。		次の日に持ち越すことが時折あるので、その日に仕上げるように記入するタイミングの徹底をする

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3ヶ月に1度、または必要に応じて見直している。		引き続き、3ヶ月に1度。または必要に応じて見直しをする
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	積極的に参加している。相談支援事業所との関係も密に行っている。		引き続き、積極的に参加し、相談支援事業所との関係も密に行う
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		該当なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		該当なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	サービス担当者会議や相談支援事業所を通して情報共有を行っている。		引き続き、サービス担当者会議や相談支援事業所を通して情報共有を行う
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	行っている。		引き続き行っていく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	行っている。		引き続き行っていく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今後の情勢により、対応する。	小学校では交流する場があるので放課後等サービスで取り入れなくても良い	今後の情勢により、対応を検討していく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今後の情勢により、対応する。		今後の情勢により、対応を検討していく
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	行っている。		引き続き、丁寧に説明をしていく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	行っている。		引き続き、丁寧に説明をしていく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	行っている。	モニタリング時に行っている	引き続き行っていく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	今後も安心して利用いただけるように努める。		引き続き安心して利用いただけるように努める
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	行っている。	モニタリング時に家での関りについても相談に乗ってもらえている	引き続き行っていく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今後の情勢や保護者の必要性に応じて対応する。	こちらではしていません	今後の情勢や保護者の必要性に応じて対応を検討していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	適切な対応をしている	謝罪もですが次はこうしますという対策をこちらにも伝えて頂くとは有難いです	引き続き、保護者に対して丁寧に伝えていく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	行っている。		引き続き行う

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のおたよりやSNSでの発信を欠かさず行っている。	毎回活動後に今日の様子を写真を撮って送ってくださる ラインで活動の写真を送ってくれて様子が分かるので助かる	SNSで最低でも週1回は更新して保護者に発信をしていく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員間で周知徹底している。		引き続き、職員間で周知徹底していく
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	行っている。	避難訓練をして下さっていますがマニュアルの内容までは分かりません	年に1回つばさ新聞を発行。 その中に避難場所などの情報も記載する
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月実施している。	毎月避難訓練をしているようです	引き続き、毎月実施していく
	3	虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	研修の機会があれば参加する。		積極的に虐待の研修に参加している 今後も積極的に参加する
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	行っている。		同意書を通じて丁寧な説明をしている
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	今後、必要であれば状況に応じて対応する。		同意書を通じて丁寧な説明をしている
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成及び情報の共有を行い子ども達の安全を図っている		引き続き、作成及び情報の共有を行い子ども達の安全を図っていく